

1 テーマ

公共図書館と学校図書館の連携

2 学校図書館支援の必要性

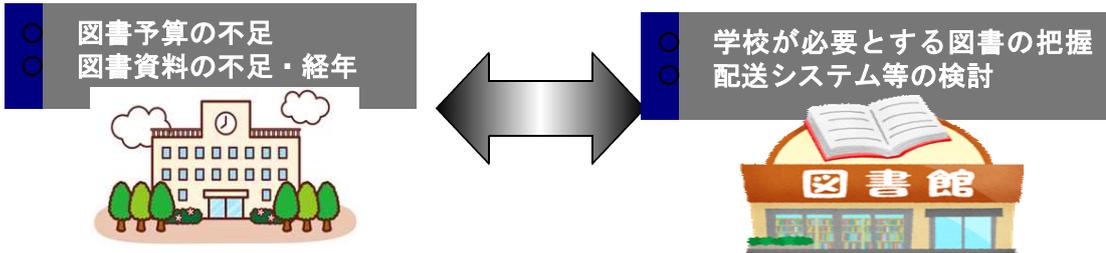
○ 学習指導要領<総則第3-1-(7)>

学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図り、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、児童の自主的・自発的な学習活動・読書活動を充実すること。また地域の図書館や博物館、美術館…(中略)…等の施設の活用を図り、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること。

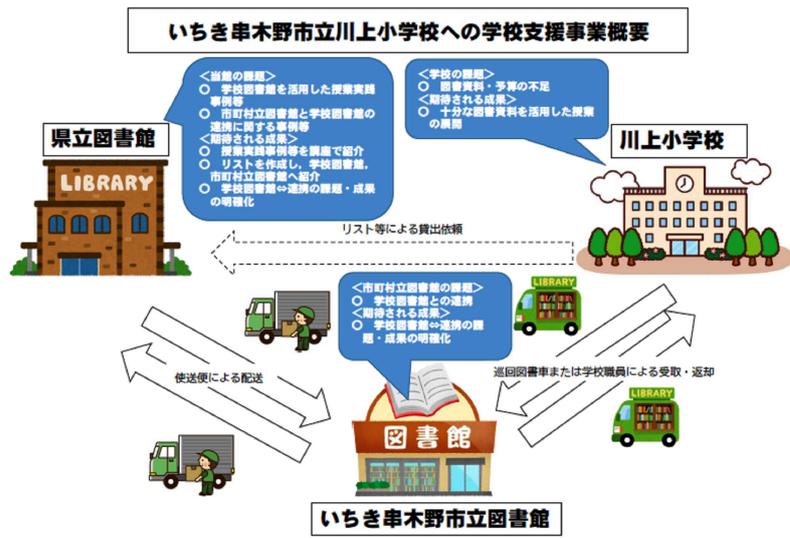
○ 子供の読書活動の推進に関する基本的な計画<第4章-Ⅲ-1-(3) 連携・協力>

子供の読書環境をより充実させるため、図書館相互の連携・協力のみならず、学校図書館や公民館図書室とも連携・協力し、蔵書の相互利用や事業の共同開催を行うよう努める。特に図書館や学校図書館との連携・協力体制を強化し、団体貸出しや相互貸借を行うとともに、図書館職員が学校を訪問し読み聞かせを行うなどの取組を積極的に行うよう努める。(H30.4 文部科学省)

3 学校の課題・公共図書館の課題



4 モデル事業としての連携システム



5 具体的な取組 (いちき串木野市立川上小学校の取組)

(1) 研究主題

「本に親しみ、自ら学びに生かす児童の育成」

(2) 研究の内容

ア 研究内容1…子どもの「もっと知りたい」を育む各教科等の授業の構築

児童が「なぜ? どうして?」という疑問をもち、自ら調べ、「もっと知りたい」と思うためには、意図的な声かけや仕掛けが必要だと考えた。そこで、授業の中で、どのような視点でどのような図書を活用すればよいのかを考え、授業と図書室をつなぐ「活用リスト」を作成した。

イ 研究内容2…子どもの「読みたい」をふくらませる図書環境の整備、家庭・地域との連携
ウ 研究内容3…子どもが「楽しい」と感じながら読んだり伝えたりする交流活動の工夫

(3) 研究の実際

ア 活用リストの作成

授業での図書活用を簡単かつ効果的にするために、「図書・図書室機能を生かす活用リ

スト」の作成を行った。授業で図書の活用が想定できる内容、実際に活用した内容をリストアップし、活用した場面や内容に合わせて、学校図書館にある書名を明記した。

この活用リストにより、手間をかけずに授業準備ができ、また児童が調べたいという思いに即座に対応できるようになった。学習における図書活用において、学習と学校図書館を繋ぐアイテムになっている。

また、公共図書館へもこのリストを送付し、必要な図書を選定する際に役立てていただいた。「授業のねらい」「活用の仕方」を明記したことで、これまで課題になっていた「学校が必要とする資料がどのようなものなのか」を把握してもらえ、授業に有用な本を送付していただいた。

3年	算数	9月 単元名『長さ』	3/8
ねらい	道のりと距離の意味やkmとmの関係と長さの計算の仕方を知る。		
活用場面	終末		
活用の仕方	1 1000mが1kmだということ、長さの計算の仕方を知る。 2 「これまでにならった長さの単位で、「m」「c」「k」って何なのだろうか？」		
参考図書	単位と比 (4171) 目でみる単位の図鑑 (6674) 目で見てわかる身近な単位 (7984) ことば絵事典②単位・数え方・色・形のことば (4880)		
活用分類	興味・関心喚起型	理解型	発展型

【活用リストの抜粋】 ※ 本校HPからダウンロード可能

イ 貸出システム

今回は県立図書館の蔵書を利用したため、使送便でいちき串木野市立図書館へ配送してもらい、そこから配本車で学校まで送っていただいた。

ウ 授業の実際

学習の中で児童が図書を活用し、ページをめくりながら調べることにより、調べたいことだけでなく、それに関連することまで合わせて知ることができる。授業での効果的な図書活用は、学習内容の定着を確かにするだけではなく、学びを広げ深めるメリットがあると言える。活用のねらいや場面に沿った図書を活用することで、図書は学習を支え授業のめあてにせまるためのアイテムになる。

3年 理科「トンボやバッタを育てよう」

トンボ(ヤゴ)やバッタを育て、チョウとの育ち方の違いを学習した後、セミ等はどちらの仲間なのかという疑問を図書を使って調べ、解決する活動を行った。その際に、県立図書館から配本された「ずかん さなぎ」は、さなぎを手がかりに変態の違いを明瞭に調べることができ、他の昆虫の育ち方にも児童の興味が向く本であった。学習内容の確実な理解、発展的な知識の獲得につながった。



エ 評価と一覧表の作成

配本された本を授業で活用し、その有効性について評価し、コメントを記した。これを全学年、年間通して実施することで、1年間に使用する際に有効な本の一覧が作成できる。それをもとに、次年度の選書の際の参考にしたり、公立図書館で把握することで他の学校にモデルリストとして活用できると考える。

No	書名	有効性	コメント等
27	0121404313 教科書に出てくる遺跡と文化財を訪ねる 1 こどもくらぶ?編 あすなろ書房 2019.1	21/コ 019/1	○ 導入と調べ学習で有効に活用。
28	0121192637 時間の大研究 池内/了?監修 PHP研究所 2012.12 63p 29cm	42/コ12	時間の決められ方について知ることができた。
29	0121282552 テーマで調べるクローズアップ!日本の歴史 1 ポプラ社 2015.4 47p 29cm	21/ホ 015/1	○ 授業の中での調べ学習で有効。教室に置いておく子どもが興味を持って見ている。

6 いちき串木野市立図書館の学校支援



学校を訪問してのエプロシアター



「ゆめはこぶくん」BM車による図書の配本



公立図書館のバックヤードを見学

7 成果と課題

- 「活用リスト」の作成により、公立図書館との連携の充実を図ることができた。また授業での図書活用が容易に効果的にできるようになった。
- 授業を通じた「活用リスト」の継続的な改善と、公立図書館との更なる連携市内全ての学校を支援するためのシステムの検討